

日本建設機械施工大賞地域賞部門

山辰組が優秀賞



日本建設機械施工大賞の地域賞部門で優秀賞を受賞した山辰組の馬淵健社長(右)ら＝揖斐郡大野町稲畑、同社

高速刈草焼却装置を開発

総合建設業山辰組(揖斐郡大野町稲畑)が開発した刈草を高温焼却する高速焼却装置「モヤッシー」が、2024年度日本建設機械施工大賞の地域賞部門で優秀賞を初めて受賞した。煙の発生を抑制して作業時間や焼却日数を短縮でき、馬淵健社長は「働き方改革にもつながる。認知度を広めていきたい」と見据える。

同社は根尾川堤防の除草作業に携わり、河川周辺の環境整備や点検を進めてきた。これまでは地面で燃やしていたが、温度が500



煙の発生を抑制し、刈草を高温焼却する装置「モヤッシー」(山辰組提供)

必要だった焼却期間を、14日間に短縮できる。同社工

事課の牧村成課長を中心に試作を重ねてきた。

地域賞部門は8件の応募があり、県内企業では唯一の受賞となった。馬淵社長は「使って効果を実感してもらい、普及を進めていく」と語った。